



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 株式会社 マツモトキヨシホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本南海雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 小松栄二

TEL 047-344-5110

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	214,760	1.0	8,283	16.1	9,168	12.7	4,418	137.7
23年3月期第2四半期	212,718	7.6	7,132	△11.1	8,137	△9.8	1,859	△61.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 4,880百万円 (192.5%) 23年3月期第2四半期 1,668百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	93.82	80.08
23年3月期第2四半期	38.63	37.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	212,722	110,267	51.1
23年3月期	217,661	109,987	49.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 108,739百万円 23年3月期 108,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(株式上場20周年記念)10円00銭が含まれております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	5.1	16,600	7.2	18,400	5.2	8,900	22.1	184.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	53,579,014 株	23年3月期	53,579,014 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,132,897 株	23年3月期	5,440,314 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	47,096,577 株	23年3月期2Q	48,136,126 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13
4. 補足情報	14
売上及び仕入の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における日本経済の状況は、東日本大震災の影響により不安定な状態となっていた経済活動や個人消費に持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州の金融不安・米国の景気減速のほか、それらに伴う円高の進行・株価の下落などにより、景気が下振れする懸念が存在し、先行きは依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

ドラッグストア業界におきましては、震災の影響による生活用品や夏の節電対応に伴う関連商材の需要増加など、堅調に推移したものの、雇用情勢の悪化や所得減少など、先行き不透明な状況から依然として、消費マインドの冷え込みが続いております。

このような環境のなか、当社グループは厳しい環境下においても安定して利益を創出できる収益基盤を確立すべく、3つの重点施策（①ドラッグストア事業の抜本的な収益改善 ②収益構造改革 ③人材育成と組織の活性化）に取り組むことで、営業力強化と経営効率の改善に努めてまいりました。

営業活動におきましては、お客様ニーズ・地域環境を反映したMKカスタマー（プライベートブランド商品）を含めた品揃えの拡充や専門人材によるカウンセリング体制の強化など、顧客満足度の向上と共に、常に新しい付加価値の創出と心のこもったサービスの提供を推進してまいりました。

また、新規出店に関しましては、関東地域を中心にグループとして40店舗を出店いたしました。更なるお客様ニーズの取り込み、環境変化への対応、既存店舗の活性化を重点に57店舗で改装を実施し、スクラップ＆ビルドを含め将来業績に貢献の見込めない25店舗を閉鎖いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、1,228店舗となり前連結会計年度末と比較して15店舗増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高2,147億60百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益82億83百万円（同16.1%増）、経常利益91億68百万円（同12.7%増）、四半期純利益44億18百万円（同137.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業の第1四半期連結会計期間におきましては、花粉飛散量の増加に伴う関連商材の伸長、夏の節電需要に対応した冷却商材・制汗剤及びシーズン商品の販売増加など、好調に推移いたしました。第2四半期連結会計期間では、6月から引き続き、節電需要に対応した関連商材や気温上昇に伴う熱中症対策商品が好調に推移いたしました。一方、8月での気温・天候要件から夏後半におけるシーズン商品の不振や震災影響に伴い一部の都市型店舗では、アジア地域からの観光客が減少するなど、苦戦を強いられました。

<卸売事業>

卸売事業は、前期におけるF C契約並びに既存契約企業の新規出店に対する商品供給など、堅調に推移しております。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は2,023億63百万円（前年同期比1.0%増）、卸売事業108億14百万円（同0.6%減）、管理サポート事業15億82百万円（同5.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,127億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて49億38百万円減少いたしました。主な要因は、商品が10億63百万円増加したものの、現金及び預金が21億11百万円、受取手形及び売掛金が11億54百万円、貯蔵品が11億18百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,024億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて52億19百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金が46億円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,102億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億80百万円増加いたしました。主な要因は、自己株式29億95百万円の増加や、剰余金の配当14億44百万円による減少があったものの、四半期純利益44億18百万円を計上したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は84億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して21億11百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは98億72百万円の収入（前年同期比25億98百万円の収入増）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益81億78百万円、減価償却費22億28百万円、売上債権の減少額11億52百万円であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額32億72百万円、未払金の減少額14億49百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは22億86百万円の支出（前年同期比4億9百万円の支出増）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入2億46百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出12億38百万円、敷金及び保証金の差入による支出7億54百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは96億97百万円の支出（前年同期比64億7百万円の支出増）となりました。主な要因は、短期借入金の減少額46億円、自己株式の取得による支出30億円、配当金の支払額14億42百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月18日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,542	8,430
受取手形及び売掛金	11,643	10,489
商品	57,342	58,406
貯蔵品	1,775	657
その他	13,500	12,955
貸倒引当金	△140	△285
流動資産合計	94,665	90,654
固定資産		
有形固定資産		
土地	41,488	41,126
その他	21,417	21,278
有形固定資産合計	62,906	62,405
無形固定資産		
のれん	7,024	6,729
その他	3,115	2,926
無形固定資産合計	10,140	9,655
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,541	35,240
その他	15,408	15,755
貸倒引当金	△999	△989
投資その他の資産合計	49,949	50,006
固定資産合計	122,995	122,067
資産合計	217,661	212,722

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,812	55,305
短期借入金	6,400	1,800
1年内返済予定の長期借入金	372	372
未払法人税等	3,437	4,094
賞与引当金	2,635	2,927
ポイント引当金	2,122	2,544
資産除去債務	4	15
その他	10,669	8,455
流動負債合計	80,454	75,517
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	752	566
退職給付引当金	846	890
資産除去債務	3,338	3,370
その他	7,282	7,109
固定負債合計	27,219	26,937
負債合計	107,673	102,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	80,289	83,261
自己株式	△13,757	△16,753
株主資本合計	109,483	109,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,061	△721
その他の包括利益累計額合計	△1,061	△721
新株予約権	8	14
少数株主持分	1,555	1,513
純資産合計	109,987	110,267
負債純資産合計	217,661	212,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	212,718	214,760
売上原価	154,043	154,640
売上総利益	58,674	60,119
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	945	422
給料及び手当	16,612	17,405
賞与引当金繰入額	2,723	2,914
退職給付費用	688	386
地代家賃	11,012	11,417
その他	19,560	19,289
販売費及び一般管理費合計	51,542	51,836
営業利益	7,132	8,283
営業外収益		
受取利息	106	102
受取配当金	80	124
固定資産受贈益	212	178
発注処理手数料	228	241
その他	678	318
営業外収益合計	1,305	966
営業外費用		
支払利息	125	42
貸倒引当金繰入額	52	—
持分法による投資損失	60	9
その他	61	29
営業外費用合計	299	80
経常利益	8,137	9,168

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	3	22
貸倒引当金戻入額	77	—
段階取得に係る差益	116	—
その他	8	0
特別利益合計	204	22
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	217	105
減損損失	919	621
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,314	—
災害による損失	—	16
その他	270	266
特別損失合計	3,721	1,012
税金等調整前四半期純利益	4,621	8,178
法人税、住民税及び事業税	3,839	3,954
法人税等調整額	△1,143	△310
法人税等合計	2,695	3,643
少数株主損益調整前四半期純利益	1,925	4,534
少数株主利益	66	116
四半期純利益	1,859	4,418

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,925	4,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256	345
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△256	345
四半期包括利益	1,668	4,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,602	4,758
少数株主に係る四半期包括利益	65	121

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,621	8,178
減価償却費	2,002	2,228
減損損失	919	621
のれん償却額	378	382
賞与引当金の増減額 (△は減少)	194	292
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	134
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	802	422
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	338	44
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△57	—
受取利息及び受取配当金	△186	△227
支払利息	125	42
持分法による投資損益 (△は益)	60	9
固定資産除却損	217	105
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,314	—
売上債権の増減額 (△は増加)	429	1,152
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,145	55
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,019	493
預り金の増減額 (△は減少)	△70	△291
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,571	△62
未払金の増減額 (△は減少)	543	△1,449
その他	89	280
小計	11,034	12,411
利息及び配当金の受取額	90	134
利息の支払額	△116	△40
法人税等の支払額	△4,369	△3,272
法人税等の還付額	635	640
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,274	9,872

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	—
定期預金の払戻による収入	679	—
有形固定資産の取得による支出	△1,736	△1,238
無形固定資産の取得による支出	△251	△242
敷金及び保証金の差入による支出	△811	△754
敷金及び保証金の回収による収入	490	246
子会社株式の取得による支出	△37	△251
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	81	—
貸付金の回収による収入	4	2
その他	△289	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,877	△2,286
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,878	△4,600
リース債務の返済による支出	△299	△468
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△9,575	△186
社債の発行による収入	14,966	—
社債の償還による支出	△124	—
自己株式の取得による支出	△2	△3,000
配当金の支払額	△954	△1,442
その他の収入	76	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,289	△9,697
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,107	△2,111
現金及び現金同等物の期首残高	11,222	10,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,329	8,430

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	128,054	72,276	475	10,405	1,507	212,718	—	212,718
セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	0	141,682	24,531	5,821	172,051	△172,051	—
計	128,068	72,276	142,158	34,937	7,328	384,769	△172,051	212,718
セグメント利益	5,773	751	101	133	618	7,377	△245	7,132

(注) 1. セグメント利益の調整額△245百万円には、のれんの償却額△374百万円及びセグメント間取引消去128百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額919百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で442百万円、「その他小売事業」で357百万円、「管理サポート事業」で150百万円となり、連結決算における消去・調整で△30百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

② 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	128,405	73,958	257	10,556	1,582	214,760	—	214,760
セグメント間の 内部売上高又は振替高	15	0	142,687	25,437	5,380	173,520	△173,520	—
計	128,421	73,958	142,944	35,994	6,962	388,280	△173,520	214,760
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	6,037	1,894	352	△2	221	8,502	△219	8,283

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△219百万円には、のれんの償却額△379百万円及びセグメント間取引消去159百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額621百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で570百万円、「その他小売事業」で75百万円となり、連結決算における消去・調整で△25百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年4月22日開催の取締役会決議に基づき、平成23年4月25日から平成23年7月4日までの期間に自己株式1,694千株（取得価額の総額2,999百万円）を取得しております。

このほか、単元未満株式の買取による増加0千株や売却による減少0千株、ストック・オプションの行使による減少1千株があった結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,995百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の自己株式が16,753百万円となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業	202,363	101.0
卸売事業	10,814	99.4
管理サポート事業	1,582	105.0
合計	214,760	101.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
医薬品	61,039	104.2
化粧品	75,280	98.5
雑貨	43,006	100.7
食品	22,999	102.1
小計	202,325	101.0
卸売事業	10,592	99.1
合計	212,917	100.9

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入(テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等)は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第 2 四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	38,407	105.5
化粧品	54,207	95.9
雑貨	33,009	99.9
食品	20,491	103.1
小計	146,116	100.2
卸売事業	9,246	84.6
合計	155,363	99.1

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。